

♪柱のキズは おとしの5月5日の背くらべ ちまきたべたべ・・・  
 この歌は5月の端午の節句の様子を歌ったうたです。遠く離れたところで働いていたお兄さんが昨年帰省できなかったが、今年帰省して17歳年下の弟の背を測った歌です。

端午の節句は、鯉のぼりや菖蒲湯に入るなど邪気を払いこどもが健やかに成長することを祈った行事です。明るく元気に育てて欲しいものです。

真砂白百合幼稚園の子どもたちも、4月の入園式、始業式を終え、新しい環境によりやく慣れ友だちも出て元気いっぱい活動しています。

まもなくゴールデンウィークになります。日頃遊ぶことが少ないお父さんと近くの公園に行くとか、お母さんと一緒に料理を作るなど、普段体験できないことをたくさんして欲しいです。また旅行等出かけることもあると思いますが、子どもから目を離さず一人にならないように注意してください。

連休中事故や事件に巻き込まれないよう、子どもたちと下配のことを約束しました。

「いかのおすし」

- ・知らない人について いかない。
- ・知らないくるまには のらない。
- ・へんだと思ったら おお声をだして助けをよぶ
- ・ すぐにげる
- ・ おうちの人や近くの大人にすぐ知らせる

連休後また元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

5月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	年長体測	年中体測	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	休
7	8	9	10	11	12	13
休	年少体測	年長遠足 年少体測開始	内科検診 輪食(遠足分振替)			休
14	15	16	17	18	19	20
休		年中遠足	誕生会 午前保育	年長卒園写真撮影 (個人)		休
21	22	23	24	25	26	27
休	休園 創立記念日	年少遠足	年少 預かり保育開始			休
28	29	30	31			
休			休園 幼稚園協会創立大会			

♪ 門の前で行ってらっしゃい ♪

朝、登園時、門の前で子ども達を見送ります。バス通園の子ども達は、入園翌日から別れています。徒歩通園の方も門で別れましょう。

お願い

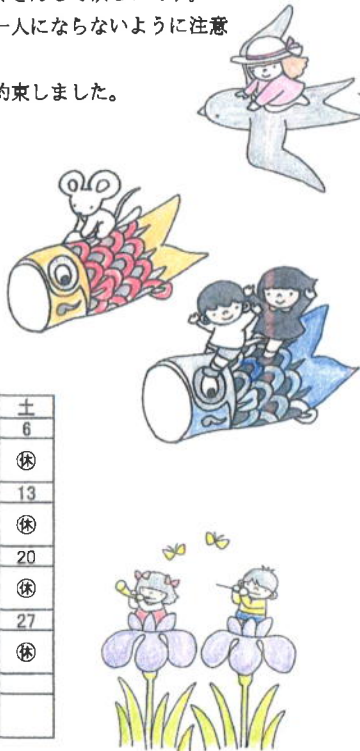
- ★ 年少の子どもたちは保育後、緊張のせいもあり、疲れて帰ります。  
 年少預かり保育ですが5月中は15:30までにお願いたします。  
 初めのうちは、都合で定刻の2時に迎えに来られない場合に利用されることが望ましいと思います。
- ★ 春の遠足についての詳細は、後日お知らせいたします。
- ★ 毎月末(4月は28日)に出席ノートを担任が預かり、翌月、初日に返却します。  
 その月のページ右下、「メモ欄」にひとこと書かせていただきますので目を通してください。  
 また、裏表紙から3ページ目、「出欠の記録」を確認後、押印してください。
- ★ 身長・体重の測定を奇数月に行います。  
 出席ノート裏表紙から4ページ目、「成長の記録」に記入いたしますので確認後、押印してください。  
髪を結んでいるお子様は、結び目が頭の上にありますと身長測定に支障をきたしますので、ご配慮ください。
- ★ 身に付けるもの、持ち物 全てに名前を書いてください。(特に下着・靴下)
- ★ これから暑い季節に向います。水筒を持参しても構いませんが、甘い飲み物は避けてください。  
 かえて喉が渇きます。お茶嚙がよいかと思えます。(幼稚園の水道も飲用出来ます)  
 (水筒洗浄の際、ストロー付の水筒はストロー部分もはずしてよく洗い、清潔に保ちましょう)
- ★ バス通園の方へ  
 降園時、お迎えで連れて帰る場合、事務室に声を掛けて、バス名簿に 迎えの「む」と記入、担任に「迎え」であることを伝えてください。

内科・歯科健診をお願いする園医の先生方です ※歯科検診は6月です

内科	美浜区高洲 成田医院 成田 医師	歯科	美浜区真砂 エーデル歯科クリニック 五味 医師
----	------------------------	----	-------------------------------

ゴールデンウィーク中、事故のないよう、楽しい休日をお過ごしください

- ・交通事故に気をつけましょう。外出時は必ず保護者が付き添いましょう。
- ・危険な遊びをしないようご注意ください。
- ・建設工事中の箇所、及び未整備の人工海浜については、特に危険であるため、絶対に立ち入らないこと。
- ・水路の付近では遊ばないこと。
- ・立ち入り禁止区域には入らないこと。



.....きどもたちも頑張っています！.....  
 今、子どもたちの心の中は新しい環境に慣れるために葛藤し、試行錯誤しながら、その子なりに頑張っています。この経過をたどりながらゆっくり園生活に適應していきます。  
 お母さま方は幼稚園で懸命に健気に頑張っている子どもたちのありのままを受け入れて、両手で抱きしめてください。ホッと安心するでしょう。心が一番落ち着くところがお母さんの温もりですから.....